

# 千葉県少年少女オーケストラ 公開リハーサル



©Tat Keng Tey

バイオリン:レイ・チェン



©Shin Yamagishi

指揮:下野 竜也



千葉県少年少女オーケストラ 第25回定期演奏会  
主催:千葉県・公益財団法人千葉県文化振興財団

日時

令和7年

3/29 (土)

13:00開始

開場 12:30

(16:30頃終了予定)

会場

青葉の森公園芸術文化ホール(千葉市中央区青葉町977番地1)

曲目

ニコライ: 歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲

メンデルスゾーン: バイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64, MWV O 14

ベートーベン: 交響曲第3番 変ホ長調 Op.55「英雄」

※リハーサル進行の都合により、曲目・曲順が変更になる場合があります。

指揮

下野 竜也

バイオリン独奏

レイ・チェン

管弦楽

千葉県少年少女オーケストラ

音楽監督

佐治 薫子

入場方法

入場無料(事前申込不要)

※当日入場口で受付を行います。

リハーサル開始後でもご入場いただけます。

3/22 (土) は公開練習を行います。

(指揮者・ソリストは出演いたしません)

日時:令和7年3月22日(土) 13:00開始 開場12:00

会場:千葉市民会館 大ホール (千葉市中央区要町1-1)

主催:千葉県 / 公益財団法人千葉県文化振興財団 / 公益財団法人日本音楽財団

お問合せ: 千葉県少年少女オーケストラ事務局 043-222-2292



# PROFILE

## 下野 竜也（指揮） Tatsuya Shimono

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。  
鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年キジアーナ音楽院で指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員を経て1999年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーン国立演劇音楽大学に留学。  
2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。  
NHK交響楽団をはじめ国内の主要オーケストラの定期演奏会に毎年のように招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、ロワール管、シンフォニア・ヴァルソヴィア、サンノゼ響、バルセロナ響などに客演。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演で指揮を務めている。  
読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。  
出光音楽賞、新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、MBC賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、南日本文化賞特別賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞などを受賞。  
東京藝術大学音楽学部指揮科客員教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授として後進の指導にもあたる。  
鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。  
NHK大河ドラマテーマ曲収録（25年放送開始の最新作「べらぼう」を含む7作品）、NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティを務めるなど、放送においても活躍している。  
公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com>

## レイ・チェン（バイオリン） Ray Chen

台湾生まれ、幼少期をオーストラリアで過ごす。15歳でカーティス音楽院への入学が認められ、アーロン・ロザンドの下で学んだ。  
2008年ユーディ・メニューイン国際コンクール、2009年エリザベト王妃国際音楽コンクールでの優勝を機に世界的な注目を浴びる。2017年アメリカの経済雑誌フォーブスの「最も影響力のある30歳未満のアジア人30人」に選ばれたほか、フランスのパリ祭、ストックホルムでのノーベル賞コンサート、BBCプロムスなど、主要イベントにも数多く出演している。  
これまでにロンドン・フィル、ライプツィヒ・グヴァントハウス管、ベルリン放送響、ミラノ・スカラ座管、ワシントン・ナショナル響、ロサンジェルス・フィル、ニューヨーク・フィル等の著名なオーケストラ、リカルド・シャイー、ウラディーミル・ユロフスキ、サカリ・オラモ、マンフレート・ホーネック、ダニエリ・ガッティ、キリル・ペトレンコ等の指揮者と共演している。  
2011年にソニー・クラシカルから発売されたデビューアルバム「ヴィルトゥオーソ」はドイツ・エコー・クラシック・アワードを受賞。2017年にデッカ・クラシックスと契約し、翌年、ロンドン・フィルとの共演によるアルバムをリリースした。  
使用楽器は日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス1714年製ヴァイオリン「ドルフィン」。  
公式ホームページ <https://www.raychenviolin.com/>

## 千葉県少年少女オーケストラ（管弦楽） The Chiba Prefecture Youth Orchestra

1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成され、29年目を迎えた。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土曜・日曜を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。現在は千葉県文化会館が大規模改修工事に伴う休館のため、青葉の森公園芸術文化ホールほか、県内各所の練習会場をお借りして活動を続けている。  
演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演も多く、これまでに米国、韓国、ドイツ、ブルガリアで演奏会を行い、好評を博した。また、「にんげんどキュメント」や「どれみふぁワンダーランド」、「題名のない音楽会」などテレビ番組にも多数出演。  
2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。  
2017年の第21回定期演奏会で、ベートーベンの交響曲第4番を演奏、この4番をもってベートーベンの交響曲全9曲の演奏を果たした。2018年の第22回定期演奏会では下野竜也氏の指揮でブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」を演奏、8月にはドイツのトーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラと交流演奏会を行った。2019年3月には1週間に3公演というスケジュールで、東京公演、題名のない音楽会の公開録音、第23回定期演奏会を井上道義氏の指揮、小曽根真氏のピアノで行った。特に、東京公演では、秋篠宮眞子内親王殿下並びに佳子内親王殿下のご臨席を賜り、サントリーホールにおいて初めての単独公演を行った。2021年3月には下野竜也氏の指揮、清水和音氏のピアノで第25回定期演奏会を、2023年3月には指揮に辻博之氏、ソリストに神尾真由子氏を迎えて第27回定期演奏会を、そして2024年末で指揮者としての活動を引退した井上道義氏との最後の共演である第28回定期演奏会を東京芸術劇場において開催するなど、益々充実した活動を続けている。

## 佐治 薫子（音楽監督） Shigeeko Saji

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業、同年君津市立松丘中学校勤務。リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。  
1966年から船橋市立前原小学校へ転任。リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年から市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。在職中テレビ・ラジオ出演も多数。また、サントリーホールやNHKホール、東京文化会館大ホール、中新田バッハホール、カザルスホール等での招待演奏、さらにニュージーランド演奏旅行等も経験している。  
退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督に就任した。2006年4月放映のNHK「にんげんどキュメント ～がんこ先生とぼくらのハーモニー～」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放映された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演（2010年3月1日に再放映）、また2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」コーナーにおいてその指導法が紹介されるなど、テレビ・ラジオにも出演している。

【主な受賞】／「サントリー地域文化賞」「千葉県教育功労賞」「市川市民栄誉賞」「国際ソロプチミスト賞」「習志野市教育文化功労表彰」「国際ソロプチミスト社会貢献賞【全国表彰】」「習志野市市政功労賞」  
「キウニスクラブ教育文化奨励賞」「千葉県文化功労賞」「NHK関東甲信越地域放送文化賞」  
「音楽教育功労賞【全国表彰】」 地域文化功労者表彰【全国表彰】（2016） 等  
出版されている本／森玲子著「バッハ先生と1000人の子どもたち」CD付き（D.ブレイン）  
森玲子著「ひろがればぼくらのハーモニー」（講談社） 他